

こども版気候市民会議からみんなに伝えたいこと

～地球温暖化って知ってる？ 未来のこと、みんなで考えてみてみよう～

今、世界中で地球温暖化が大きな問題になっていて、わたしたちの暮らしや地球上の生き物に大きな影響がでています。

「なぜ地球温暖化が起きるの？」「地球温暖化が進むとどうなるの？」

2025年に開催した「こども版気候市民会議」では、小学3年生から中学3年生までの17人のこどもたちが集まり、地球温暖化の原因や、それを防ぐ方法などについて、みんなで考えました。

外に出たくなくなるほどの暑い夏…。みんなも家族やお友達と一緒に地球にやさしいことを考えてみましょう。



地球温暖化ってなに？

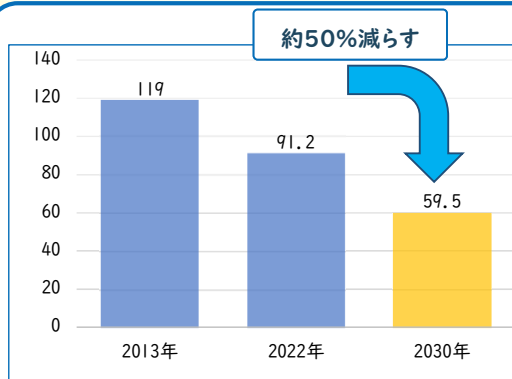
地球温暖化とは、地球の気温がどんどん上がってしまうことで、大気中に含まれる二酸化炭素などの「温室効果ガス」と呼ばれる気体が関係しています。

温室効果ガスは、太陽から地球に入ってきた熱を閉じ込め、地球を暖かくしてくれますが、温室効果ガスが増えすぎると、気温がどんどん上がり、気候変動による台風やゲリラ豪雨が増加することで、大きな災害を巻き起こします。

また、熱中症にかかる人が増えたり、動物や植物に与える影響もさまざま、わたしたちが食べる米や野菜が育たなくなったり、お魚が獲れなくなったりもします。

二宮町では、2022年の時点で、91,200トンの二酸化炭素が排出されており、2013年と比べると9年の間に27,800トン減少することができましたが、これ以上の地球温暖化を防ぐためには、2030年に59,500トンまで減らす必要があり、これからも二酸化炭素を出さないための工夫と行動が必要とされています。

※スギの木1本が1年間に吸収する二酸化炭素の量は、約14キログラムとされており、1トンの二酸化炭素吸収するには約71本のスギの木が必要です。



二宮町の二酸化炭素量の排出量はどれくらい？

こども版気候市民会議ではどんなことをしたの？

「こども版気候市民会議」では、工作や探検などの体験を通じ、気候変動のもたらす影響や自然の大切さについて考えてもらい、「どうする!? 気候変動対策」をテーマに話し合いを行いました。



こども版気候市民会議で学んだこと

第1回

間伐材の竹を活用して、ソーラーランタンの工作体験を行いました。

自然から出た竹に直接触れることで、自然に触れる心地よさ、やさしい香りを感じてもらいました。また、環境を守るために森林整備について学びました。



こどもたちの声

自然のものを活用して工作ができて楽しかった

竹がこんなに厚いなんて知らなかった

竹のにおいがすごくあって、自然を感じた



間伐とは、一部の木々を伐採することにより、森林の中により多くの光が降り注ぐようになり、残った木や下草が健全に成長できるようにすることです。また、間伐を行うことで土砂災害の防止にもつながります。間伐の際にでる木材を間伐材といいます。

第2回

二宮町の北側エリア（一色）を中心に、自然との共生を目指した農場や再生可能エネルギー施設等の探検をしました。

自然を感じながら、山の中を探検したことで、自然と共生することの大切さを感じました。また、メガソーラーを見学し、エネルギーを生み出すことの苦悩について学びました。



こどもたちの声

木を植えることで土砂崩れや干ばつを防ぐことができるなんてびっくりした

こんなに身近にソーラーパネルがたくさんあるのを知らなかった

自然の力だけで農業をしていることに驚いた



メガソーラーは多くの電力が発電できる一方で、自然の中で建設する場合には相当な面積の森林伐採を必要とします。また、肥料や農薬を利用することで収穫量が多くなる慣行農法と、肥料や農薬を利用せず環境負荷が少ないけれど収穫量が少なくなる有機農法との違いを学びました。環境を考えるためには、色々な視点に立って考えることが大切です。



第3回・第4回

第1回・第2回を通じて、気候変動問題について自分たちにできることや多くの人も取り組んでもらいたいことなど、将来に向けての環境行動のアイデアについてまとめました。

みんなの将来のために何ができるかを自分ごととして、真剣に考えました。



こどもたちの声

環境に関するイベントに参加して勉強する

家や学校でグリーンカーテンをする

環境のためになっているか作る時や買う時に考える

二宮町のみんなが環境に興味をもつ



こんなアイデアもあったよ！



素材すべてがecoなものをつくる

すべての生き物が幸せになる

自分の未来は自分で守る

自然にかえるプラスチックをつくる

ごみが新しいものに生まれかわる革新的なリサイクルボックスをつくる

水や食べ物はあたりまえではなく大切な物だと再認識する

人工的で便利な社会から不便でも地球にやさしい社会へ

こども版気候市民会議からの提案

地球温暖化による影響や自然の大切さについて考えた中で、「どうする!? 気候変動対策」をテーマに、3つのグループで目指したい将来像と必要な取り組みについて話し合いました。



目指したい将来像



実現するために必要な取り組み

Aグループ

Ecoを誰もが意識して、
すべての生き物が
幸せに暮らせる未来



みんなで取り組む

- ・みんなでできることからコツコツ頑張る。
- ・各都道府県で話し合いを行い、国が一丸となって取り組む。

活動の輪を広げる

- ・植物を植えることに加え、植物の大切さを伝える活動を行う。

ごみを資源として活用する

- ・牛乳ストローを工作に活用する。
- ・プラスチックごみをアクセサリやポーチなどに活用する。

Bグループ

- ・地球温暖化をSTOP
- ・森いっぱい生物多様
- ・地産地消のお店がいっぱいでしかも安い
- ・もったいないや食品ロスがない



自然環境を整える

- ・森を大切にする。
- ・道や公共施設を緑化する。

活動の輪を広げる

- ・環境のイベントにダンスや映画（アニメ）をセットにして集客する。

地産地消を進める

- ・給食の食材を地産のものにする。
- ・地産地消マークをつくり、地域の食材を使っているお店につける。

Cグループ

立ち止まって
生活を振り返る



環境を意識して生活する

- ・エコ日記をつける。
- ・振り返るきっかけになる情報を得やすくする。

自然について考える

- ・自然の日（祝日）をつくる。

生活の仕方を考え直す

- ・不便な生活を感じるイベントを開催する。
- ・便利な生活を感じるイベントを開催する。

こども版気候市民会議に参加して

こども版気候市民会議に参加して「感じたこと」や「気づいたこと」を
みんなで一緒に話し合ったら、さらにたくさんの「気づき」を得られました！

第2回の時にいろんな所にごみが
落ちていてひどいなと感じた。
だから自分のごみを落とさないよ
うに気をつけようと思いました。

友達ができてうれしかった！

自分だけではできないことや他の人
と話すことによって、もっとアイデ
アや楽しさ増すと感じた。環境や自
然の大切さを改めて感じました。楽
しかった！面白かった！アイデアが
いっぱい出た！もっと環境や世界を
楽しくしたくなった！また参加した
い！

気候変動についてもっと
たくさん勉強したい！

Ecoをもっと意識し
ていきたいと思った。

工作体験と探検
が楽しかった！

植物を大切にすることは、すごく
大切なんだって初めて知った。
ほかにも森林、水辺、里山、里地
を守る活動に参加してみたいと思
いました。

不便なこと、便利なことを
詳しく知れてよかったです。
参加してよかったです。

楽しかった！みんなこんな
にも自然を大切に思っているん
だと思いました。これから
もっと頑張りたいです。



これからの地球をまもるために！

これからの地球をまもるため、そしてみんながこれからも安心して
暮らせる環境のために、地球にやさしいことをみんなで一緒に始めよう！
地球温暖化は、大人もこどもも、みんなに共通する問題です。
「何をしたらいい？」、「どんな取り組みがうまくいくの？」と悩んだときは、
家族や友達と一緒に話し合い考えてみよう！
みんなで力を合わせて地球温暖化対策に取り組もう！



地球温暖化や自分たちで取り組める行動について知りたい場合は、下のサイトにアクセス！

地球温暖化

地球温暖化のしく
みや原因などを
詳しく知ることが
できます。



町HP
「地球温暖化を知る」

こども版気候市民会議

こども版気候市
民会議の活動を
詳しく知ることが
できます。



町HP
「こども版気候市民会議」

やさしい行動

どんな行動したら
いいのかのヒント
を知ることができます。



町HP
「エコな行動にチャレンジ！
【マイエコ10宣言】」